

平成 21 年 2 月 3 日

各 位

会社名 株式会社 fonfun
代表者名 代表取締役社長 三浦浩之
(コード番号 2323)
問合せ先 執行役員経営管理部長 小松昌弘
(TEL 03-5350-7800)

特別利益及び特別損失の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月期におきまして、下記のとおり特別利益及び特別損失を計上いたしますのでお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 11 月 15 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の発生とその内容について

(1) 連結

特別利益 228 百万円

テレマーケティング事業の譲渡益 107 百万円及び、連結子会社上海網村信息技术有限公司の株式譲渡益等 121 百万円を計上いたしました。

特別損失 121 百万円

投資有価証券に対する評価の結果、現状の収益状況及び純資産の状況などを勘案し、投資有価証券評価損 35 百万円及び、上海網村信息技术有限公司に対する貸付金 86 百万円に対して貸倒引当金繰入を計上いたしました。

(2) 個別

特別利益 192 百万円

テレマーケティング事業の譲渡益 107 百万円及び、連結子会社上海網村信息技术有限公司の株式譲渡益 85 百万円を計上いたしました。

特別損失 73 百万円

投資有価証券に対する評価の結果、現状の収益状況及び純資産の状況などを勘案し、投資有価証券評価損 35 百万円及び、上海網村信息技术有限公司に対する貸付金 38 百万円に対して貸倒引当金繰入を計上いたしました。

2. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,200	60	60	440	20,823.47
今回修正予想 (B)	2,491	296	298	583	25,598.10
増減額 (B - A)	709	236	238	143	
増減率 (%)	22.1%				
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	2,917	145	157	536	25,368.81

3. 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,700	10	20	110	5,205.87
今回修正予想 (B)	2,100	130	110	110	5,207.19
増減額 (B - A)	600	140	130	0	
増減率 (%)	22.2%				
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	2,242	26	27	468	22,165.29

4. 業績予想の修正の理由

当社は業界環境の変化と当社グループの状況を踏まえ、第 3 四半期より「売上拡大」から「営業キャッシュフロー重視」に経営方針を変更しました。

これに伴い、これまでの「複数事業でリスク分散を図る」戦略から「事業ドメインを明確にして経営資源を集約する」方向で、グループ会社および事業の再編を実施しています。

今回の事業再編の基本方針と概要は以下の通りです。

< 基本方針 >

- ・ 事業ドメイン以外の事業の撤退または縮小
- ・ 事業採算性を重視し収益性の高い事業に特化
- ・ 業績変動要素の極小化（不確定要素の高い事業からの撤退または縮小）
- ・ 先行投資型事業の中止もしくは切り離し

< 概要 >

- ・テレマーケティング事業からの撤退（第4四半期に事業譲渡）
- ・携帯ゲーム機向けソフト開発からの撤退（第4四半期に事業譲渡）
- ・国内メディア・ポータル事業の大幅縮小と中国メディア・ポータル事業の切り離し（第3四半期に実施）
- ・店舗販売事業（携帯端末販売）の大幅縮小（進行中）

これら事業再編の実施により、売上減少と一時的な損失拡大が発生しております。

第4四半期においても、急速な世界的景気後退や企業の投資抑制の傾向を鑑み、ソリューション事業（B to B）を中心とした更なる見直しを行っていく予定であり、事業再編完了後は業績が回復する見込みであります。

（1）連結

売上高につきましては、個別業績の修正要因に加えて、連結子会社NVソフト（株）において展開している携帯ゲーム機向けソフトの受託開発事業の縮小等により、前回発表の業績予想（平成20年11月5日付）を下回る見込みであります。これらの売上高の減少に伴い、営業利益・経常利益につきましては、前回発表の業績予想を下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、営業利益・経常利益の減少及び、上記特別利益、特別損失の発生により、前回発表の業績予想を下回る見通しとなりました。

（2）個別

売上高につきましては、テレマーケティング販売事業の譲渡及びソリューション事業における受託案件の減少により、前回発表の業績予想（平成20年11月5日付）を下回る見込みであります。

これらの売上高減少に伴い、営業利益、経常利益につきましても前回発表の業績予想を下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、営業利益・経常利益の減少及び、上記特別利益、特別損失の発生により、前回発表の業績予想を下回る見通しとなりました。

以 上

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。